

フジッコ株式会社（兵庫県）

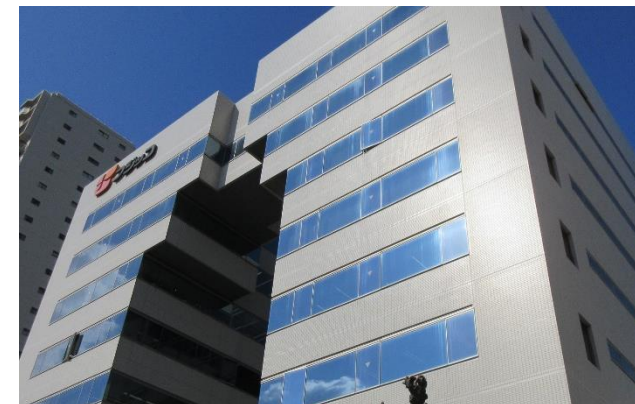
おいしさ、けんこう、
つきつき、わくわく。))



自然の恵みに感謝し、サステナブルな社会と会社の実現を目指して

【フジッコ株式会社の概要】

- 創業：1960年11月7日
- 本社：兵庫県神戸市
- 主な事業内容：各種食品の製造販売
- 工場：8か所（兵庫（3か所）、埼玉、千葉、神奈川、北海道、鳥取）
- 物流センター：2か所（兵庫、埼玉）
- 営業所：全国17拠点
- 関係会社：4社



【目標】

「2030年までにプラ使用量を25%削減
(2018年比)」

- プラスチック削減の取組は2014年から開始している。
- 2015年にSDGsが採択されたことをきっかけに、2019年にプロジェクトを立ち上げた。
- プラスチック削減にあたり、次の点を配慮
 - ①機械の適正
 - ②消費者の負担にならない
(商品の値上、品質低下、安全性低下)



【主な取組と成果】

- 小分け容器でそのまま食卓に提供できると好評の「おばんざい小鉢」は容器を薄肉化することで7%のプラスチックを削減。
- 売上量が多いことから、商品全体で24トンのプラ削減を実現。
- この容器での商品開発は①充填技術、②包装技術、③計量技術の3つの技術が必要になる。



フジッコ株式会社（兵庫県）

デリカ惣菜で使用する容器の見直し

- 一部小売店で販売している日配の惣菜商品について、これまで使用していたプラスチック容器をラップトレーに変更し、2020年秋から試験的に販売。
- 懸案事項であった容器の強度については問題ないことが確認できたことから、引き続きラップトレー容器の使用を広げていく予定。
- プラスチック容器からラップトレーに変更することで、1パック当たりのプラスチックの使用量を約50%削減することが可能。



ラップトレー
(発泡スチロールのトレーにラップ)



プラスチックを使用した容器



容器変更の検討

- 「カスピ海ヨーグルトプレーン 400g」の容器は発売開始の2005年当時は紙製の容器であったが、2020年頃、品質保持及び賞味期限の延長のため、プラ容器に変更し、食品ロス削減の一定の効果はあった。
- 現在、プラスチック削減の観点から、最適容器への見直しを検討している。



容器の小型化の検討

- ロングセラーの「ふじっ子煮」では、容器の小型化により、プラ削減を目指している。
- 技術的な課題はあるが、将来的には紙容器への切り替えも検討したい。

